

{ 未来のものづくり勉強会 }

不便益のスヌメ@山形

- 不便は手間だが役に立つ！ -

仕事の効率化や自動化など利便性の追求で見落とされた不便の効用を掘り起こし、新しいデザインや商品化の糧とする「不便益」の勉強会を開催します。新しい製品開発手法に取り組んでみたい、新規分野への参入のきっかけづくり・芽だしを行いたいという企業の皆さん、ぜひご参加ください。

不便益の考え方から生まれた「素数ものさし」は
販売実績3万本を超えるヒット商品！
さて、この定規で4cmを測るには・・・？



{ こんな企業におすすめ }

- ・AI、IoT、ロボットがもたらす便利とは異なる考えを身につけたい。
- ・デザイン思考の先のイノベーションを求めている。
- ・こころ豊かなライフスタイルを目指した製品を生み出したい。

日時：令和2年1月10日(金) 9:00～16:00

対象：県内ものづくり企業、デザイナー等

定員：30名(定員になり次第締切)

会場：山形県高度技術研究開発センター 研修室(山形市松栄2-2-1)

講師：京都大学情報学研究科特定教授 川上浩司氏

テーマ：不便がもたらす益について・身近な不便益を探そう！

参加費
無料

{ テーマについて }

不便がもたらす益について・身近な不利益を探そう！

近年の情報化社会ではAIやIoT、ロボット等の導入が加速し、仕事の効率化、自動化が進んでいます。日常生活でも利便性の追求が推し進められる中、一方では、人が自分の頭で考え、身体を動かしてこそ得られる満足感や達成感、また危険回避などの洞察力の低下が心配されています。この状況を俯瞰すると、利便性の追求が必ずしも生活の豊かさにつながっていないことが危惧されます。

今回はこれら利便性の追求で見落とされた不便の効用を掘り起こし、新しいデザインや商品化の糧とする「不利益」の勉強会を開催します。講師には長年にわたり不利益システムを研究されている川上浩司氏をお招きし、行き過ぎた省力化や効率化の逆にある不便がもたらす効用を解説していただきます。また、川上氏の考案した「不利益カード」を用い、商品やサービスの開発において、人とは違う切り口で物事を考えられるスキルを身に付けます。



「不利益カード」の一例

「不利益」の研究から生み出された製品たち

これまでの「不利益」の研究から数多くの製品が生み出されています。「素数ものさし」の他に、「かすれていくナビ」「左折オンリーツアー」「曲線電子レンジ」「不便な京土産」「ジェスチャーでロック解除 不便えキー」など、この研究ならではのユニークな製品が提案されています。



「かすれていくナビ」

講師：川上浩司氏

京都大学情報学研究所特定教授、京都先端科学大学教授、不利益システム研究所代表。京都大学大学院工学研究科修了。博士(工学)。不利益研究のパイオニアとして、不利益システム研究所代表を務める。著書に『不便から生まれるデザイン～工学に活かす常識を超えた発想』(化学同人)、『ごめんなさい、もしあなたがちょっとでも行き詰まりを感じているなら、不便をとり入れてみてはどうですか？～不利益という発想』(インプレス)などが、近著に『不利益のススメ』(岩波ジュニア新書)がある。新聞、雑誌、テレビ、ラジオなどのメディアでもその研究内容が広く取り上げられている。



「不利益のススメ」
(岩波ジュニア新書)

{ お申込み・問合せ先 }

「企業名/役職/参加者名/住所連絡先」を明記の上、メールにてお申込みください。

yrit@yrit.pref.yamagata.jp

山形県工業技術センター企画調整部連携支援室(三井・月本)
〒990-2473 山形市松栄2-2-1

TEL 023-644-3222 / FAX 023-644-3228

<http://www.yrit.pref.yamagata.jp/>